

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2018年9月発行

7月、8月と猛暑が続きました。9月に入ったとはいえ、まだまだ暑い日々が続きますので、油断せず、熱中症対策などに気を付けてお過ごしください。

さて、今年も「はもりあ四日市」の登録グループさんによる「さんかくカレッジ2018」市民企画講座が9月末から始まります。子育てや介護、自己尊重などいろいろなテーマで開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

《さんかくカレッジ2018市民企画講座が始まります》

募集等の詳細につきましては、順次、広報よっかいち・情報紙「はもりあ」・ホームページ等でご案内いたします。ぜひご参加ください。

《NPO法人四日市男女共同参画研究所》企画 **募集中!** 《ヨガサークル ガレット》企画

『人生100年時代と地域
-変化と希望のモデルに学ぶ-』

私たちは今、人生100年の時代を迎えようとしています。これからどのように生きるべきか。さまざまなモデルから一緒に学び、考えましょう

第1回 9/29(土)「病は市に出せ…徳島県のある町の実態」

第2回 10/20(土)「認知症カフェと連携」

第3回 11/10(土)「高齢者が働く…起業の実践」

時間 いずれも 13:30~15:30

参加費 全3回通して 1,000円

『主役はパパ!? ママ!? 子育てが
楽しくなるリフレッシュ講座』

運動、食事、睡眠の三つのテーマを通して、忘れがちなパパやママ自身の健康面を見直してみませんか

第1回 10/13(土)「リラックスヨガ教室」

第2回 11/10(土)「大人のかぶせ茶ぷりんと

子どものじゃがもちおやつ作り」

第3回 12/8(土)「産後ママ、パパのための眠育講座」

時間 いずれも 10:00~12:00

参加費 全3回通して 1,000円

11月開講 《四日市友の会》企画

『暮らしのステップアップ講座
“家族をまきこむ家事のコツ”』

家族みんなで考えて、話し合い、協力して一緒に健全な家庭を目指すことが大切です。一人一人の生活力アップを目指します

11月開講 《セパ三重》企画

『「ほめ日記」講座
& 命の声を聴く自己尊重トレーニング』

自分をほめて認めることで、“自分の命への尊重感”が心の中から湧いてきます。自分の命を尊重する意識を育てる講座です

1月開講 《明日の地域医療を考える住民の会 あした葉》企画

『介護者に寄りそいたい!』

女性が、妻が、子どもが介護をしなくてはいけないの? 介護を一人で背負わなくていい。楽しくできる介護を考えましょう

1月開講 《NPO法人 体験ひろば☆子どもスペース四日市》企画

『こんなに違う!
世界の子育て・世界の保育』

子育て・保育のあり方の多様性を知り、また子どもの権利を大切に「子どもにとってより良い」こととは何かを学びましょう

【第1弾】として、7月26日(木)に「食品サンプルピザのフォトフレーム作り」を開催しました。最初に樹脂を使ってサンプルができる様子を、講師の加藤聡美さんから実演していただいた後、子どもたちは用意されたピザ生地のサンプルに自由に具材をトッピングしたり色を重ねてピザを作り、最後にピザをフォトフレームにつけて完成。とても素敵なオリジナル作品が出来上がりました。



【ピザのフォトフレーム】

【第2弾】は、8月4日(土)に「お菓子作りで多文化体験」として、ブラジルの伝統菓子“ブリガデイロ”を、講師の宮西マリアさんに教えていただきました。ブリガデイロは、コンデンスミルク、ココアパウダー、バターの3つの材料で作れる簡単なお菓子で、ブラジルではポピュラーだそうです。子どもたちは、2班にわかれて、みんなで協力しあいながらお菓子作りを楽しみました。ブリガデイロは、食べてみると生キャラメルのような食感で、調理室いっぱい甘い香りが広がりました。



【ブリガデイロ】

男女共同参画について学ぶ「ちよこっとさんかく教室」では、絵本『タンタンタンゴはパパふたり』を基にした人形劇や、表情サイコロを使って自分の気持ちを伝えるサイコロトークを通じて「相手を否定せず、違いを認め合い、お互いに大切にすること」を学びました。



【ちよこっとさんかく】

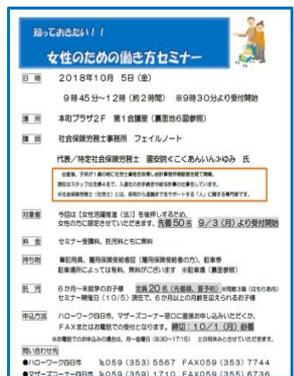
2つの講座アンケートでは、子どもたちから「また参加したい」「楽しかった」「ペンギンの話で感動した」と、うれしい声をたくさんいただきました。

予告

知っておきたい！！
女性のための働き方セミナー

参加無料

【日時】 平成30年10月5日(金) 9:45~12:00(9:30より受付)
 【会場】 本町プラザ2階 第1会議室
 【講師】 社会保険労務士事務所 フェイルノート 代表/特定社会保険労務士 こくあんいん 國安院 ゆみさん
 【定員】 50人(先着順)
 【内容】 “女性が働くという選択をする”こと
 社会保険・雇用保険とは？
 一言で扶養の範囲というけど実際どういう事か？
 産休・育休制度について
 【持ち物】 筆記用具、雇用保険受給者証(雇用保険受給者の方)
 【託児】 あり・無料ですが要事前予約(6カ月~未就学児・先着順20名まで)
 対象年齢は、セミナー開催日(10/5)現在で、6カ月以上のお子さま
 【申込み】 9月3日(月)~受付開始
 ハローワーク四日市、マザーズコーナー四日市の窓口へ直接か、
 電話、FAXでお申込みください。締切り：10月1日(月)必着
 【問い合わせ】 ハローワーク四日市 TEL:059-353-5567・FAX:059-353-7744
 マザーズコーナー四日市 TEL:059-359-1710・FAX:059-355-6736
 主催 ハローワーク四日市、マザーズコーナー四日市 共催 四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」



平成30年度 はもりあフェスタ 開催決定！！
平成31年2月2日(土)~3日(日)

男女共同参画を身近に感じていただくためのイベント「はもりあフェスタ」を、平成31年2月2日(土)~3日(日)に開催することが決定しました。市民活動団体の皆さんと、はもりあ四日市職員で構成されている「はもりあフェスタ企画運営委員会」で、より充実した催しとなるよう、企画の内容を議論・検討しています。今年度は、市民活動団体の皆さんによる10のワークショップに加え、オープニング行事や、エンディング行事も行う予定です。詳細等は、随時当紙にてお知らせします。お楽しみに！！

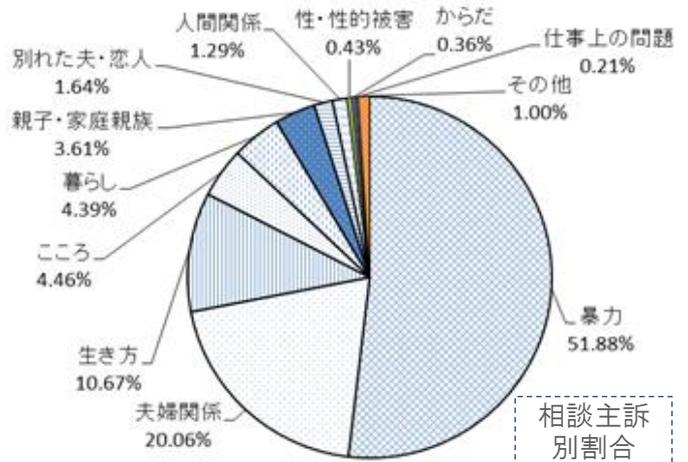
相談室から

平成29年度の“女性のための相談”ミニレポート

平成29年度の相談状況を、『声なき声を聴く 2017年度(平成29年度)』にまとめました。

平成29年度は、625人から延べ2,801件の相談がありました。暴力についての相談が最も多く、そのほとんどがDV(夫やパートナー等からの暴力)で相談全体の約52%を占めています。その次に多いのは、夫婦関係(約20%)で、離婚や別居についての相談が多くなっています。

詳細については、「はもりあ四日市」のホームページで、相談業務のまとめ『声なき声を聴く2017年度(平成29年度)』をご覧ください。



◆◆◆相談員から◆◆◆

「一人で抱え込まないで」。この思いで、相談の電話を受けさせていただいています。人はそれぞれ、悩んだり、苦しんだりすることがあります。先が見えない。不安で押しつぶされそうになる。自分がしたいことは何なのか。自分はどうしていくのか……。そんなとき、ちょっと電話をかけていただけたらと思います。電話をかけたらずい解決ということにはなりません、一緒に考えさせていただきます。

今日のキーワード

医大入試における女性差別問題

ある医科大学の入試において、女性受験者の点数を一律減点していた、というニュースが報じられました。具体的な選抜方法は大学側にゆだねられ、目的に合理性があれば、募集要項に記載したうえで、地域枠や男女別の枠を設けて選抜を行うことも可能です。しかし、今回の問題においては、女性の合格者を抑制することに合理的な理由はないとされています。

この問題の背景には、慢性的な医師不足であることに加え、女性は結婚や出産、そして育児などを機に現場から離れることが多いため、医療現場において戦力になりにくいと見られてきたことも原因として挙げられています。

しかし、女性が戦力になりにくいと見られてきたことは、「女性だから」問題だというわけではなく、長時間労働が原因で仕事と家庭を両立させることができない、医療現場の労働環境が問題です。女性を排除するのではなく、長時間労働を是正し、性別に関わらず、誰もが仕事と家庭を両立できる労働環境を整えることが必要です。

男女共同

さんかくeye^{あい}

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点^あを通してね。

『夫源病』とは、読んで字のごとく、夫の存在や言動が大きなストレスとなり、妻の心身にさまざまな不調が現れる病気だが、正式な医学的病名ではない。普段から亭主関白な夫に尽くしてきた妻が、我慢に我慢を重ねて発症するケースが多いそうだ。

さて、我が家はというと、家のことは私がほぼ担ってきたつもりだ。最近夫が一足はやく退職し、毎日家にいる生活となった。代わって家のことを率先してやってくれるかと思っていたが、そうでもない。気が向くとしてくれるが、こちらの思うようにはやらないし、できない。イライラして、つい小言を言ってしまう。

先日、テレビの健康番組で「夫源病」が取り上げられており、それを見ていた夫が「妻が原因の『妻源病』ってないの」と言い出した。さも自分はいかになりそうだとおぼろげに。以前、夫から小言を言われると「何もしない人に言われたくないわ」と、イライラしていたことを思い出した。立場が変わると、同じことを相手に言っていることに気がついた。それぞれやり方が違うし、家事のやり方に正解はないはず。お互い認め合い、思いやることしかない。少し反省したが、もうそろそろ家事への積極的参加をしてもらってもいいんじゃないかと思ってしまう。

我が家の家事分担に悩む担当 n

イベント
案内

台風のため延期しました!!

橘 ジュン講演会

漂流する少女たち「無関心社会」の罪

～若年女性を取り巻く現状～

日時 平成30年10月27日(土) 13:30~15:30
会場 本町プラザ1階ホール(四日市市本町9-8)

※前回と会場が異なるためご注意ください!!

定員 90名(定員になり次第締め切り) 料金 無料

講師 特定非営利活動法人BONDプロジェクト代表 橘 ジュンさん

託児 6カ月から小学3年生程度

(無料ですが10/16(火)までに事前申し込みが必要です。)

申込 講座名・住所・名前・電話番号、託児希望の場合は預ける子の名前と年齢も一緒に、電話かFAX、またはEメールでお申し込みください。

9/25(火)
9:00~
受付開始



登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は

市民学憲塾

さんです。

代表者 伊藤 一幸

連絡先 090-2925-0138

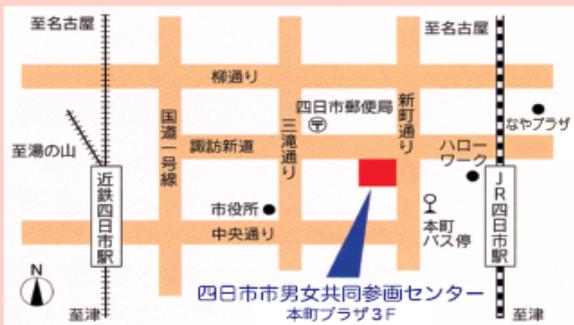
昨年5月3日、憲法施行70周年を記念して発足した小さな団体です。改憲、護憲、加憲等議論されている昨今ですが、まずは知憲・学憲の立場から、少人数で構わないから、話し合い学び合える場をつくることができたら、と思つてのことです。はもりあ四日市には、昨年末に登録させていただいた新米グループで、今年5月からは会議室をお借りして塾(話し合い)を開催しております。

今回は、9月22日13時半から、長いですが「人びとを幸福にしない日本で、憲法25条から生活保護を考える」というテーマで行います。資料代ということで200円徴収させていただきます。(チラシは、はもりあにも置かせていただいております)

来年2月の「はもりあフェスタ」のワークショップにも参加させていただけることになりまして、憲法24条の「男女平等」の草案を書いたペアテを描いたドキュメンタリー映画「ペアテの贈りもの」上映を予定しております。

◎◎◎あとかき◎◎◎

日中は夏のような暑さですが、朝夕の風は少し涼しく感じられる9月になりました。9月1日の防災の日から始まり、いつもより遅い3日からの新学期、17日に敬老の日、23日に秋分の日、24日に十五夜と秋の行事が続きます。先月は台風の発生が多かったですが、近年は9月の発生数の方がさらに多くなっているそうです。夏の疲れが出る時期でもありますので、皆さんにおかれましては体調にご留意され、初秋の風情を楽しんでいただくことができればと思います。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml